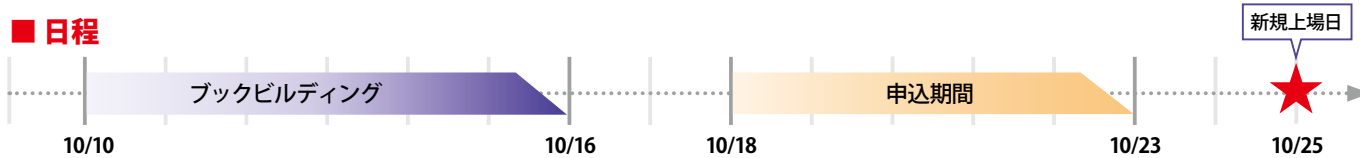


IPO銘柄 シルバーライフ (9262・マザーズ)

コード	投資単位	公開株式数	仮条件 (上限 PER)	主幹事証券
9262	100 株	公募: 50.00 万株 売出: 15.00 万株 (OA9.75 万株)	2,300 円 ~ 2,500 円 (15.5 倍)	みずほ証券



高齢者向け配食サービスのフランチャイズ

■ 事業内容

高齢者向け配食サービスのフランチャイズチェーン本部運営としてFC加盟店などに対する食材の販売を手掛ける。「まごころ弁当」「配色のふれ愛」の2ブランドで展開。FC加盟店に対し、経営指導、弁当の食材販売を行い、FC加盟店は食材代金とロイヤルティを支払う。FC加盟店向け契約には通常プランと、初期費用の一部とロイヤルティなどが無料で食材費用がやや高くなるゼロプランがある。食材は調理済みで冷凍されており、FC加盟店はその食材を弁当容器に盛りつけて利用者の自宅に配送し、代金回収を行う。7月末の店舗数はまごころ弁当367店舗、配色のふれ愛196店舗。高齢者施設向け販売、OEM(相手先ブランドによる生産)も手掛けている。17年7月期第3四半期時点の売上高構成比はFC加盟店向け78.1%、高齢者施設向け13.8%、OEM8.1%だった。

■ 特徴

製造から配達まで一貫した体制を持つことで、特に製造面では群馬県にある自社工場(関東工場)で1,000品目以上の生産に対応。多品種ランダム生産に加え、FC加盟店の増加によるスケールメリットを追求することで、ローコスト化を実現し、それが他社との差別化につながっている。

アナリストコメント

■ 定量分析

18年7月期の非連結営業利益は前期比9.4%増の5億9,000万円を予想している。FC加盟店の積極的な出店、高齢者施設向けの食材販売に対する営業強化などで売上の増大を図っている。高齢者施設向けでは需要の旺盛な九州地区での営業を強化した。

■ 定性分析

一人暮らしや要介護の高齢者には手間をかけず毎日の食事を用意したいというニーズがあり、それは高齢化社会の進展に伴って大きくなっている。高齢化社会対応型のビジネスを展開する企業への株式市場の注目度は高く、テーマ性の強さも評価されそうだ。

■ 需給状況

仮条件の上限で試算した市場からの吸収金額は18.7億円と荷もたれ感が意識されるほどの規模ではない。ベンチャーキャピタル保有株がないことから公開株式以外の株券が市場に流通しにくく、需給面への大きな不安はなさそうだ。(小泉健太)

■ 類似企業

シルバーライフ(9262・マザーズ)	予想PER15.5倍 (仮条件上限)
ファンデリー(3137・マザーズ)	予想PER21.6倍
ショクブン(9969・東証2部)	予想PER31.7倍

■ 引受証券

みずほ証券、SMBC日興証券、SBI証券、いちよし証券、岡三証券、岩井コスモ証券、丸三証券

業績・財務指標

	売上高 (百万円)	前年比 (%)	経常利益 (百万円)	前年比 (%)	純利益 (百万円)	前年比 (%)	EPS (円)	1株あたり 年間配当金(円)
16年7月期(実績)	4,151	17.5	434	36.0	301	43.5	150.2	—
17年7月期(実績見込み)	5,245	26.4	539	24.1	377	25.4	188.4	—
18年7月期(会社予想)	6,184	17.9	590	9.4	384	1.8	160.9	—

※ 17年3月に株式分割(1株→20株)に実施。16年7月期のEPSは遡及修正

	発行済み 株式総数(株)	総資産 (百万円)	純資産 (百万円)	資本金 (百万円)	BPS (円)	自己資本比率 (%)	自己資本当期 純利益率(%)
15年7月期	100,300	1,472	529	10	263.9	36.0	49.5
16年7月期	100,300	1,669	830	10	414.1	49.8	44.3

大株主上位(上場前)

	氏名または名称	所有株式数(株)	所有割合(%)
1	近江屋	1,000,000	46.44
3	戸井 丈嗣	8,600	0.40
4	青沼 勝秀	6,600	0.31
5	片寄 達哉	6,200	0.29
6	大瀬 安昭	6,000	0.28
6	シルバーライフ社員持株会	6,000	0.28
8	岡崎 弘	5,800	0.27
9	中谷 顯嗣	5,700	0.26
10	加瀬 真由美	5,200	0.24
10	玄葉 陽平	5,200	0.24
10	白鳥 真吾	5,200	0.24
10	須加 泰考	5,200	0.24
10	村手 寿俊	5,200	0.24
10	横田 啓	5,200	0.24
10	米倉 秀	5,200	0.24

経営陣

役職	氏名
代表取締役社長	清水 貴久
取締役(営業部長)	戸井 丈嗣
取締役(管理部長)	青沼 勝秀
取締役(生産部長)	大瀬 安昭
取締役	中谷 顯嗣
取締役	清田 滋
常勤監査役	川内 慎二
監査役	奥津 泰彦
監査役	深町 周輔

モーニングスターIPOレポートの読み方

特 徴

モーニングスター IPO^(※1) レポートでは、日本国内の取引所に新たに上場する銘柄を取り上げ、モーニングスターが位置する中立的な第三者としての立場から IPO に関する情報を提供いたします。ブックビルディング^(※2) が始まる前にレポートを提供することにより、IPO への参加を検討している投資家にとって有用な情報となるでしょう。モーニングスター IPO レポートには、企業名・コード・公開株式数など基本情報やブックビルディング期間・申込期間など IPO 日程のほか、モーニングスターの担当アナリストによるコメントを掲載いたします。

※1 IPO (Initial Public Offering)：新規株式公開。

※2 ブックビルディング：引受証券会社が機関投資家などの意見をもとに決定した仮条件を投資家に提示し、投資家の需要がどの程度あるかを把握することによって、マーケットの動向に即した公開価格を決定する方法。一般的に需要積み上げ方式と呼ばれる。

項目説明

■ 事業内容

新規上場する企業の事業概略を解説します。主要製品やサービスのほか、セグメント別の売上高構成比率などを記載。新規上場時の事業の状況や、先行きの見通しなども交えて分かり易くお伝えいたします。

■ 特徴

新規上場企業の設立経緯から現在の事業環境、ビジネスモデルや事業の強み、顧客動向、業績内容、海外展開、経営陣など様々な観点から特筆すべきエッセンスのみを抽出し、掲載いたします。

■ 定量分析

新規上場時に開示される前期、前々期の業績実績と今期の会社計画を用い、業績の成長性や収益性、財務安定性の面から新規上場銘柄を分析いたします。

■ 定性分析

新規上場銘柄が持つ事業の特性や事業環境、セクター動向などを踏まえ、定性的な評価をするほか、足元の株式市場の状況などを考慮して、マーケットから見た新規上場銘柄に対する見方なども掲載します。

■ 需給状況

公募・売り出しの株数と仮条件をふまえ、市場からの吸収金額を試算するほか、足元の新興市場の動向、類似企業の株価推移、ベンチャーキャピタルによる保有株放出の可能性なども考慮し、上場初日の需給状況を予想いたします。

■ 類似企業

新規上場企業と同じ業種に属する競合他社や類似企業を取り上げて PER を併記いたします。PER の水準は初値の参考指標として有効です。